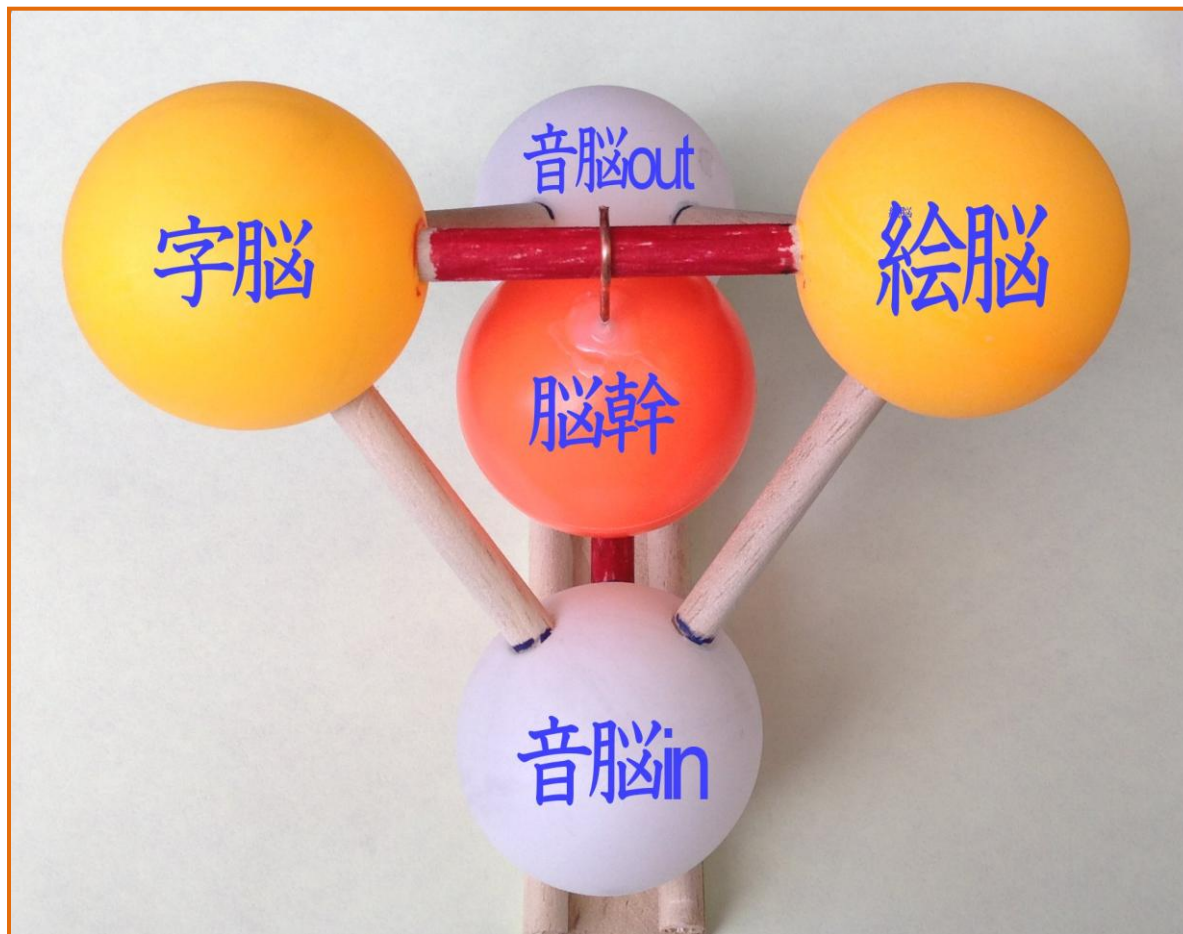


### 3. 音絵字脳とはなにか？



音絵字脳の模型写真

## ／脳の働きから見た新しい呼称 音絵字脳／

左右脳という呼称では、左、右という文字の意味するところから、脳がどんな働きをしているかは解かり難いものでした。そこで、音絵字勉強法では、生理学上の名称ではなく、頭の働きから考え『愛と能力』の成長に関わる要素を元に名称を付けました。それが、音絵字脳です。音絵字脳から産み出される脳力は、音絵字力となります。

簡単にいうと『音』、『絵』、『字』に対する能力が上がれば上がるほど、頭の働きが良くなることを現しています。また、『音』=>『絵』=>『字』の順番にトレーニングするが最適であることも現しています。

そして、お子様に言う時には、頭の働きを良くするためには、「音、絵、字の三つの要素で勉強すると、頭がよくなるよ」とシンプルに伝えて頂きやすくなりました。

あまり複雑に考えないで、音、絵、字に対する能力をそれぞれ高めていけば、頭脳が優秀になっていくんだと思って下さい。そのことが、左右脳を使わないで、音絵字脳と表現する大きなメリットとなります。

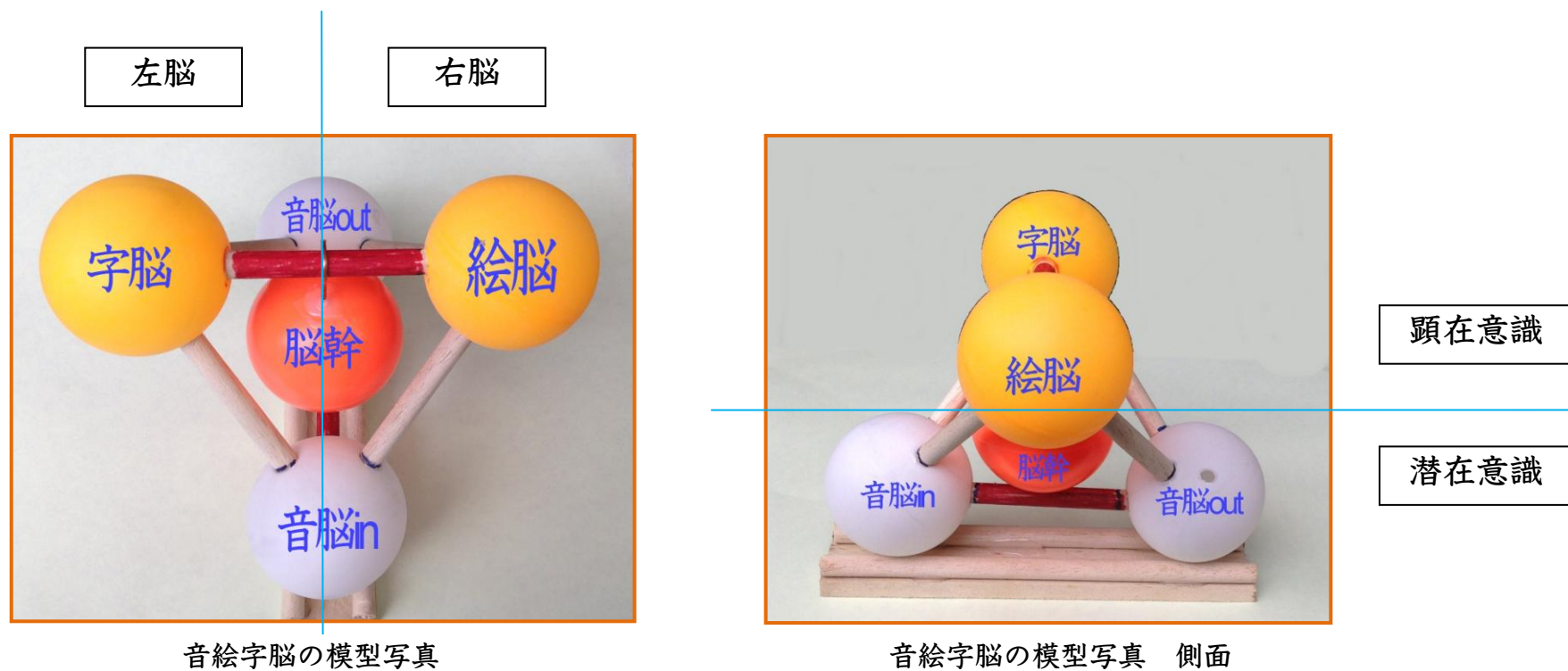
『音絵字脳』と表現することで、右脳・左脳、潜在意識・顕在意識の既存の脳の構造表現を、1つの言葉で表現することが出来ようになりました。

## ／音絵字脳の構造／

写真のように、音絵字脳は、音脳 in (耳)、音脳 out (口)、絵脳、字脳 の四つの脳の働きの部位からなり、それら四つの分脳の中にはそれらを効果的にコントロールする脳幹があると捉えます。外形としては、四つの頂点を持つ三角錐脳の構造となります。

働きとして、絵脳が右脳、字脳が左脳、また、潜在意識が音脳に近く、顕在意識が絵脳、字脳に近いと考えています。

脳の働きを音絵字脳として構造化したことで、その構造を見て直感で頭脳をどのように脳を育てていけば良いか分かり易く感じて頂けると思います。



／音絵字をコトタマで理解する／

音	絵	字
<p>音の字は、ヒ（霊、日、火）が立つと書く。</p> <p>音には、オト（5%）、イン（95%）の世界がある。</p> <div data-bbox="212 718 683 1181"> </div>	<p>絵は、叡知、智慧のエを顕している。建物を建てるには、建築設計図が必要である。</p> <p>それが、絵に相当する。絵には、数学、物理、遠近法、色、等々。数々のIQ的な情報が入っている。</p> <p>IQが必要</p> <div data-bbox="806 829 1187 1149"> </div> <p>数学 物理 遠近法 色</p>	<p>シは、しあわせの四、志、支、資 また、死のシでもある。</p> <p>ジは、シの濁点。 濁点は否定という意味がある。それで、（死）の否定、生となる。字は、生きた命を持った自立した存在である。</p> <p>自立の自もジ。 時間の時もジ。</p> <p>濁点のもう一つの意味は、振動の意味がある。 時間も振動している。 寺院の寺もジである。</p> <p>シとジをジ〜ンと感（神）じられる人が、詩人である。</p>

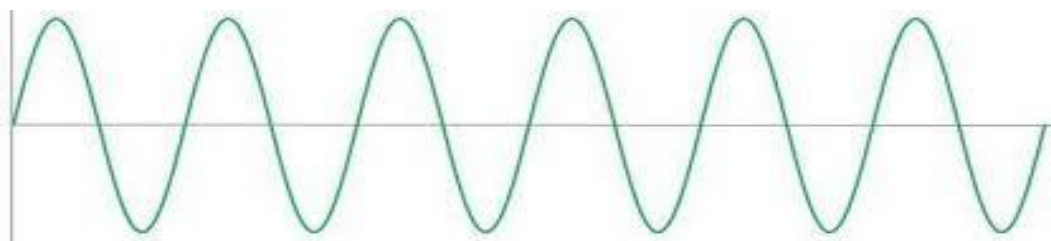
## ／音脳／

音脳の最大の特徴は、時間の要素が入っていること

音脳には、絵脳字脳と違って、唯一、時間の要素が入っています。  
絵、字を見たら、一瞬で何を意味しているか判断出来るが、音（音楽、言葉）は時間を掛けて全部を聴かないと判断が出来ません。

このことは、人（霊止）の成長には、時間が必要であることを意味しています。  
必要な時間を数理性に基づいて掛けながら、音脳を育てていくことが大切です。

人の成長には、一歩一歩少しずつ1%づつコンスタントに継続して勉強することが大切なことを意味しています。



時間＝波動性がある

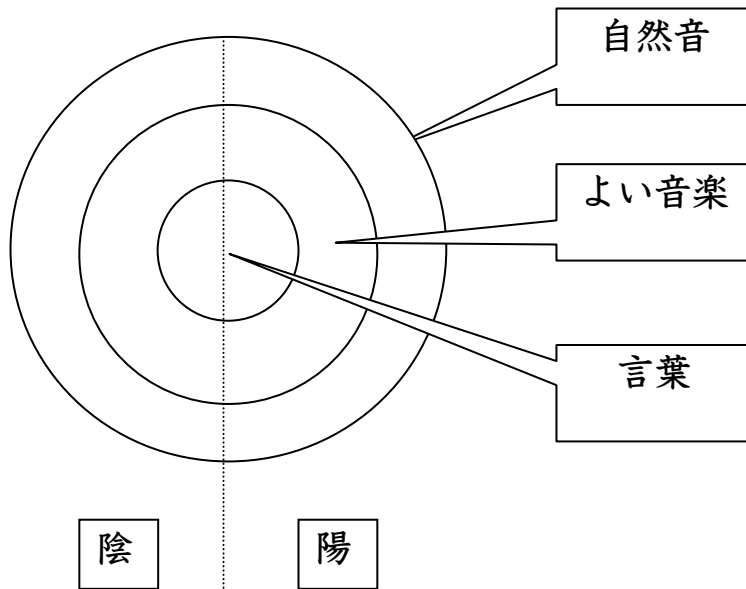
成長には時間が必要

そのため、日々のトレーニング時間を楽しむことが大切

例えば、鳩の卵の孵化は必ず21日間かかる

赤ちゃんの誕生には、40週間かかる

## 音脳の断面図



## 音脳の役割

### [顕在意識の面]

- ・ 高いIQの要因となる源  
数理性  
論理性  
粒子性

### [潜在意識の面]

- ・ 深いIQの要因となる源  
人類愛  
家族愛  
波動性  
閃き  
芸術性
- ・ 音（音色、メロディ、和音）辞書構築

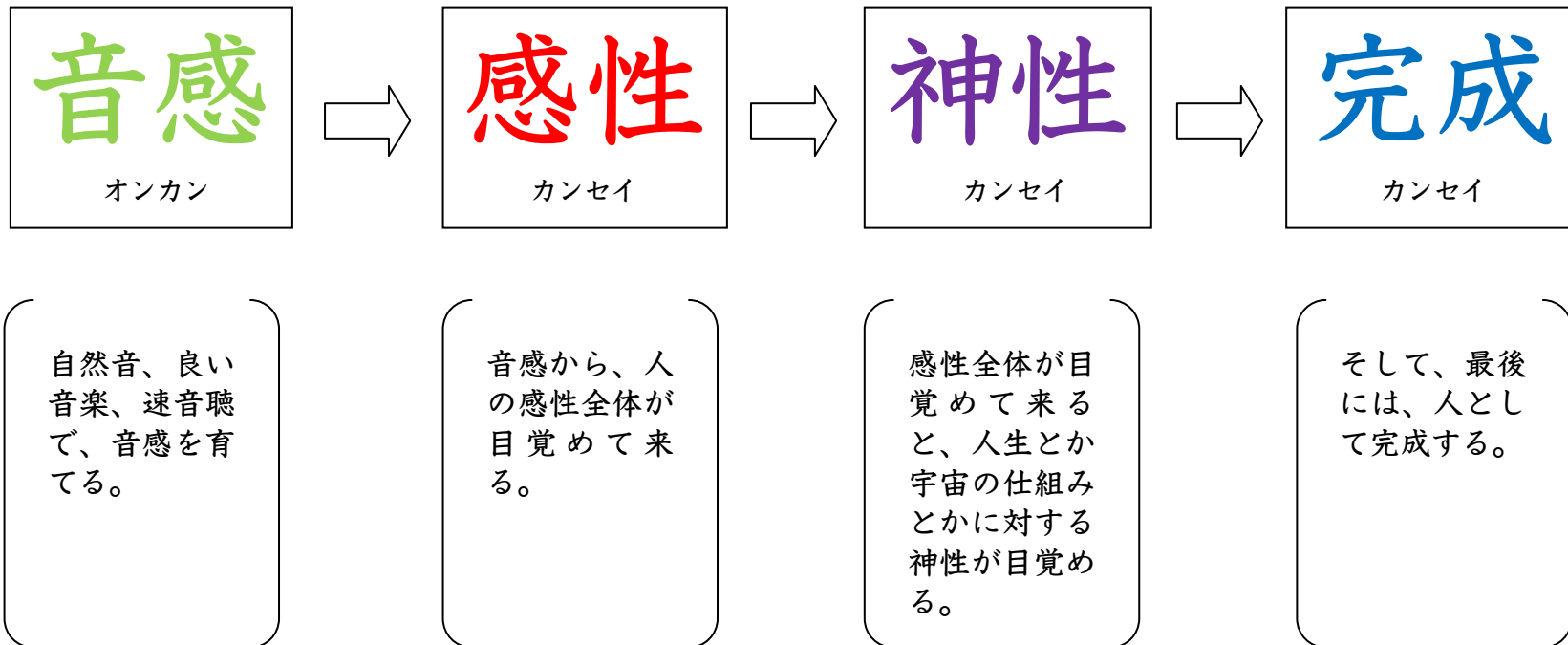
## ／音脳 in (耳) ／

音脳から成長する そして、人（靈止）として完成する

音脳は、潜在意識・顕在意識の観点からすると、潜在意識に近い。

音は目に見えないが、絵、字は、目に見えるからである。

人（靈止）の心と身体という観点からすると、音は心に近く、身体は絵字に近い。



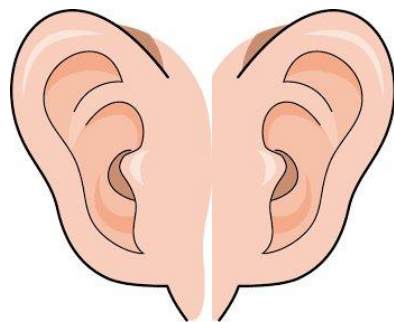
## 音に関係する器官は、唯一二つある

一般の常識になっていない新しい発見ではないかと思っている事があります。

それは何かといいますと、人には、聴覚、視覚、臭覚、味覚、触覚、この五感があります。器官は、それぞれ、耳、目、鼻、舌、手で、それらで五感を感じるようになっていきます。ただ、良く調べて見ますと、口は舌で味わう以外に、音を発声するという機能があります。目は見るだけですが、音に関しては耳で聴いて、口で発声するように、耳と口という二つの器官が音に関係しています。

このことは何を意味しているのかと言うと、

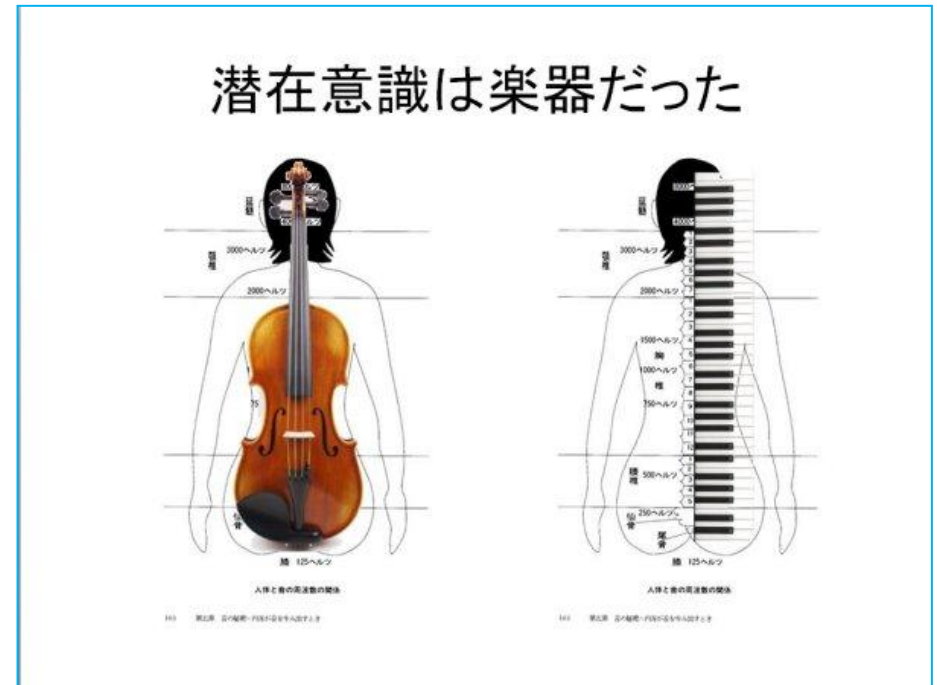
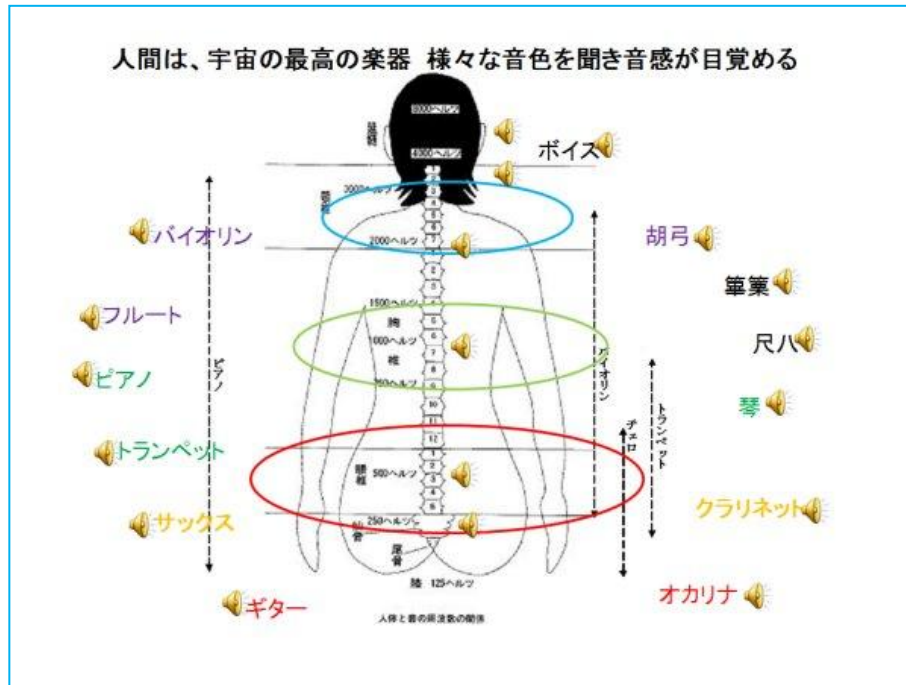
音が人（霊止）にとってとても重要なものであり、脳の中でも、音脳（音脳 in、音脳 out）を育てることが、『愛と能力』の全開を実現するために、とても重要であることを示してくれていると考えられます。



音に関係する二つの器官 耳と口



心身は楽器だった。



人間は、宇宙の最高の楽器、様々な音色、メロディー、ハーモニー、リズムで、音感が育つ。

音感がある程度育つと、音を発振したいと思うようになる。潜在意識（霊止の霊）は、楽しい器、楽器と捉えれば、発振する（響かせる）ことがより楽しくなります。

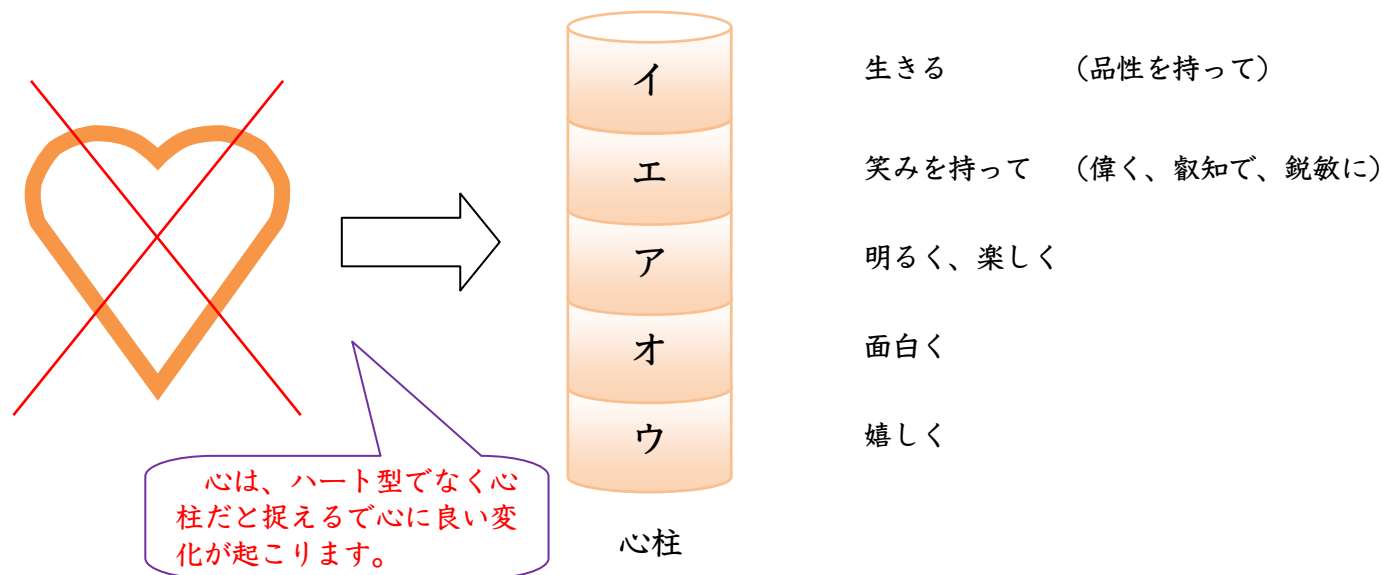
音=心 : 人の心は、柱。心柱だった。

伊勢神宮の下に心柱が立っています。

心は一柱、二柱と捉えると良い事が分かりました。柱だとすれば、心の棒なので、心棒（シンボウ）。辛抱強い心が顕れて来ます。子育てにおいてお子様にこの心棒が立つような言葉掛けが出来ると、心柱が立ち自立心が芽生えます。辛抱（シンボウ）強い人間に育ってくれます。心に芯が出来ます。そうすると、その子は周りから信望（シンボウ）されます。

ちょっと言葉のお遊びみたいに感じられると思いますが、カナの同じ言葉の背後には同じような言葉のエネルギーがあります。これは大きな日本語の特徴です。下図のように、ウオアエイのカナを使って、嬉（ウ）しく、面（オ）白く、明（ア）るく、笑（エ）みを持って、生（イ）きる、等の言葉が出来上がっています。（詳細に関しては、言霊フトマニの学びを提供しています。）

また、運動においては、身体の体幹が大切だと言われています。身体における体幹が、心では心柱に相当します。



音には二つの意味がある

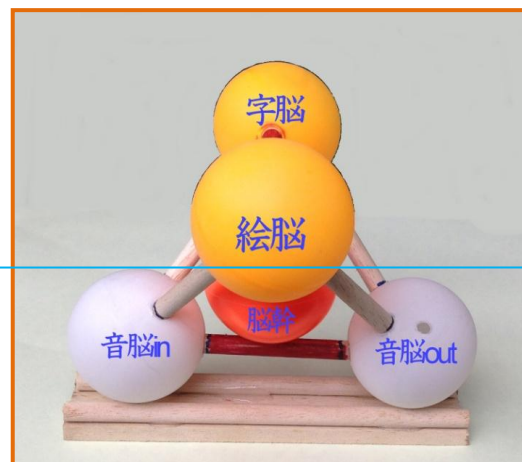
EQ 的な意味での読み方 音=イン 陰、因

音（イン）には、陰、因 という意味が含まれており、  
顕在意識 5%  
潜在意識 95% = 因、陰  
心の原因となっている、潜在意識を顕している。

IQ 的な読みでの読み方 音=オト

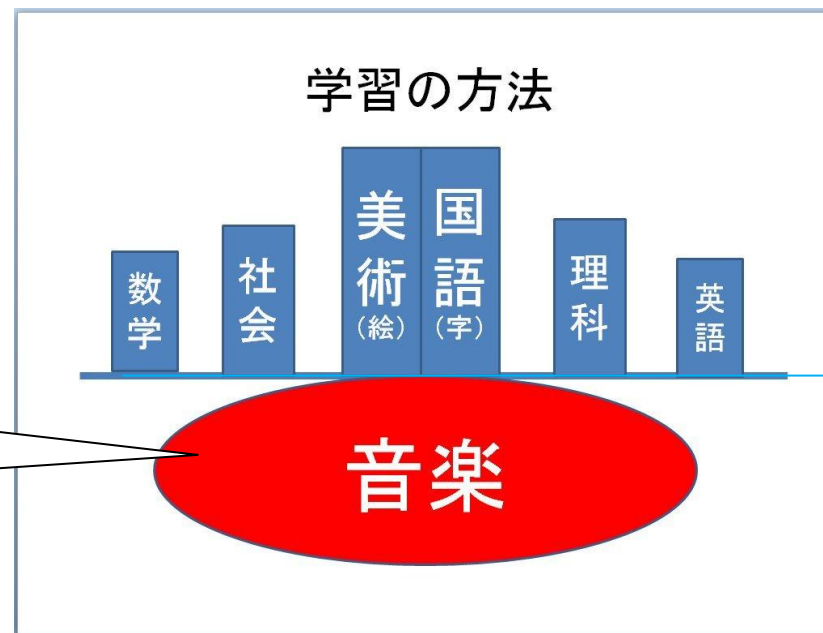
そして音（オト）には、基本的に3種類がある  
言葉  
音楽  
自然音 至善に至らしめてくれる。

音楽で潜在意識を日々育てることが、学習能力の分母となり、深いEQを育てることにもなり、高いIQも育つ。そのため、国語美術を中心軸として、理科、社会、英語、数学などの成績も引き上げられます。



顕在意識

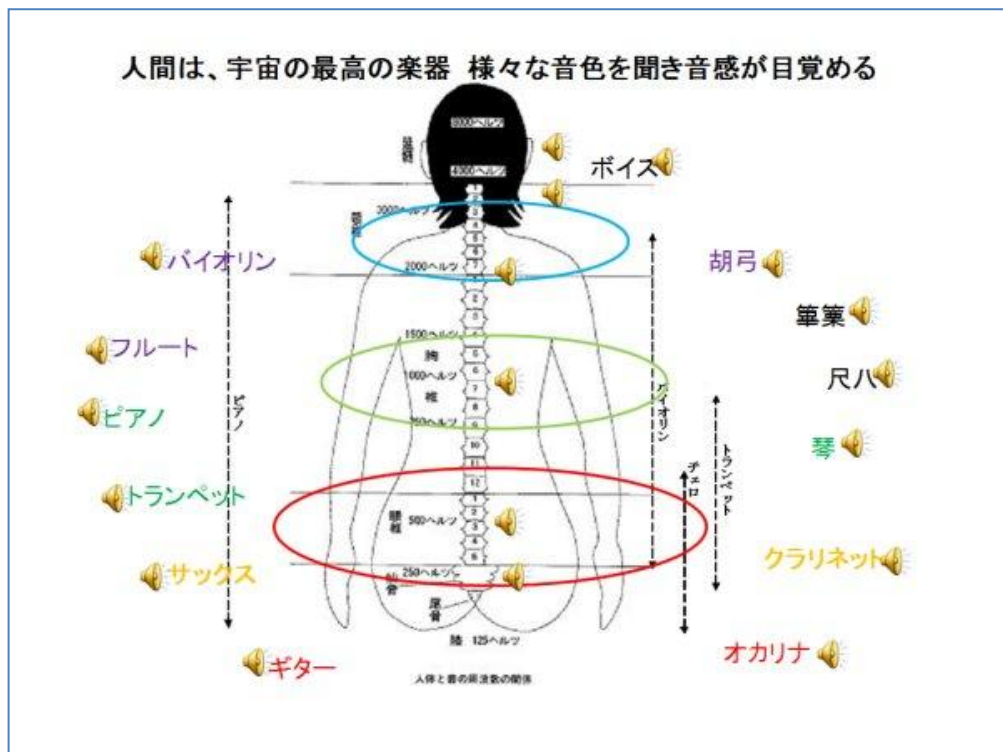
潜在意識



顕在意識

潜在意識

## 音が深いEQを育ててくれる最も重大な要素



円満な心  
全愛の源

一つの音色はあたかも一人の人格を表わしているようです。バイオリン、フルート、トランペット、サックス、ギター、二胡、胡弓、箏、尺八、琴、クラリネット、オカリナ等、様々な音色を聴けば聴くほど、円満な心が育ちます。

自分を取り囲む360度、様々な音色を聴くという事が、円満な心、深いEQを育てるためにとても大切です。

## 音は高いIQも育ててくれる重大な要因

### 1. 音像

人間は心の中で、潜在意識で音（イン）を感じて、この音はこんなイメージだと想像しています。除夜の鐘を聞きながら釣鐘をすぐに思い出すことができます。鐘は、簡単な例ですが、もっと複雑なクラシックなどでも、トレーニングによって、何かの絵が見えます。それが音像です。もっと、様々な音色、音楽、メロディ、ハーモニー、リズム、そういう音楽の要素を聞けば聞くほど、それに相当する、絵とか字が浮かぶようになってきます。啓蒙されてきます。もともと、宇宙の縮小体として、膨大な宇宙の縮小された生まれた人間は、潜在意識の中に無限な能力が埋め込まれて誕生しているので、それらが見えない音が鍵となって目覚めると、けた違いの『愛と能力』を発揮するようになります。

教科では数学の問題ではほとんど絵とも考えることができます。音は目には見えないので、効果があったとか、解り難いところがあるのですが、確実に色々な音色、ハーモニー、リズム、メロディを聴いて頂くと、音像が育って、形ある絵、字、全てに才能が目覚めて参ります。

### 2. 数学物理

数学、物理学なども強くなってきます。楽器というのは、本当に数学の塊り、物理の塊りです。楽器は数学そのままだと思えます。例えば、弦楽器などで、今弾いた音程より1オクターブ高い音は弾くためには、どこを押さえたらいいか？こういう問題が出たら、真ん中を押さえると良いという回答になります。真中は波長が2分の1になるという事であり、振動数が2倍になるので、音程としては1オクターブ上がることになります。

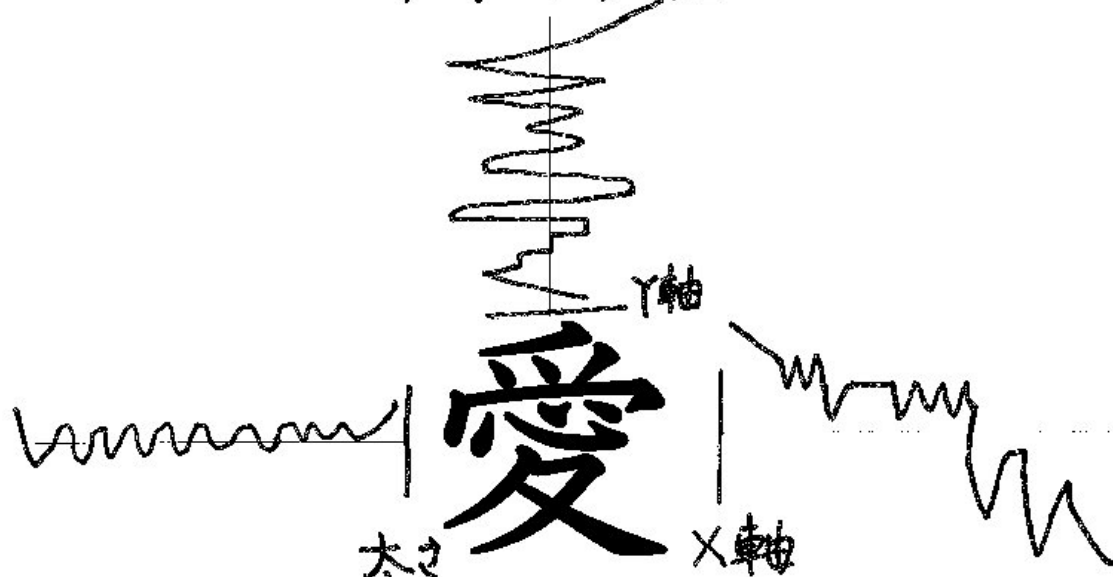
### 3. 脳の成長、記憶容量の増大

脳の成長が音楽を聴いていくと全然違います。脳が音の持つ性質で成長し、記憶容量を増大します。だから、どんな本読んでも、全部記憶してやるぞ、出来るぞ。という何でも記憶出来る感覚になります。

### 4. 寿命が伸びる

寿命が延び、健康にもとても良い影響を与えます。音楽やって聴くのも楽しい、演奏するのも楽しいという事は60兆の細胞が元気よく響いている訳ですから、病気にもなり難く、寿命も延びてきます。

## 筆字の価値



筆字は、X、Y 軸、そして太さの軸の3つの波動の合成で描かれる

筆字は、X、Y 軸、そして太さの軸の3つの波動の合成で描かれる

文字は、X と Y 軸に、音楽のように、時間を横軸として波動として上下することによって文字が描かれます。

そこに、太さの波動が加わると、筆字となります。

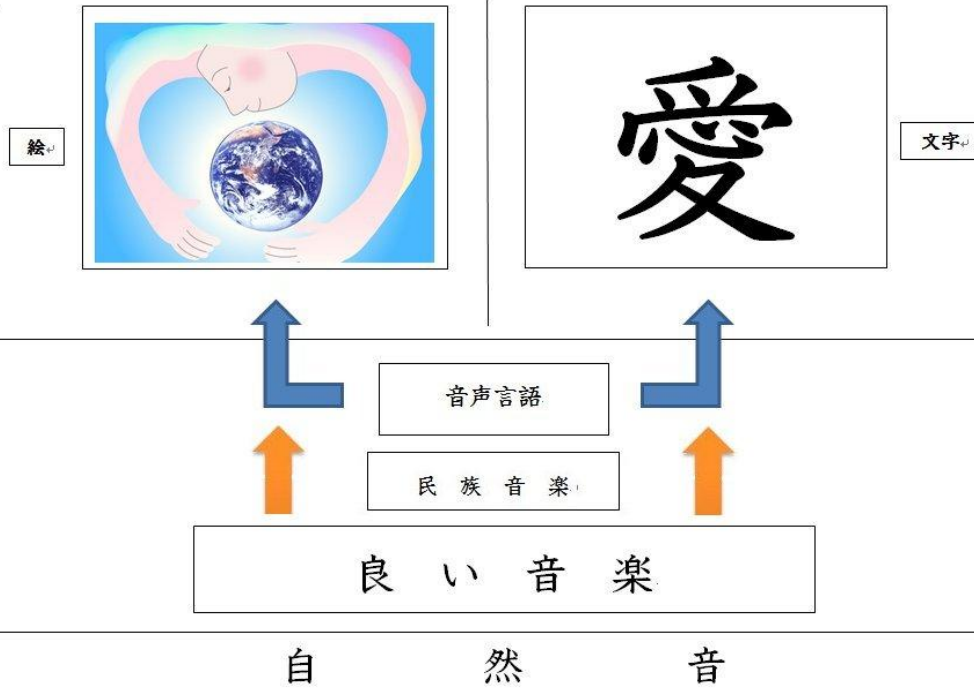
X、Y、太さの上下の変化は、まさしく、音楽のようです。

三つの音楽が、ハーモニーとして響き合うことによって、筆字が描かれると捉えられないでしょうか？

筆字を描くことが、ひとつの音楽の作曲のように、とても、素敵なことのように、思えてきます。

音に目覚めると、このような観点で筆字を理解して頂き、筆字（文字）も練習して頂くと、誰でも上手くなって参ります。

音楽に目覚めると、絵が上手くなる。



音楽に目覚めると、絵も上手くなる

音に目覚めると、絵も上手くなる

「豊かな絵は、時間的に千対万象に変化する豊かな音の粒が、平面のキャンパスに、散りばめられたもの」でした。

多様な音色、メロディ、ハーモニー、リズムなど豊かな音の波動に目覚めると、絵も上手く描けて来ます。

チラシの裏側にでも、絵を描くことは、それは未来の人生を描きだしていることと同じ価値があることです。

量子力学の物理法則：「意識は現実化する」そのことを実践していることになります。

## ／音脳 in (耳) ／

### 耳の語源は、身実 (ミミ)

耳に聞こえるという事がどれだけ効果があるか？以前から「耳は音は24時間聞いても疲れず、目は1時間でも勉強していると眠くなってすぐ疲れる。だから耳からやった方がいいんだよ！」という話をお伝えしていたと思います。

それに加え、もう一つ凄いことが分かりました。耳というのは実は『身実』(ミミ)が語源だということです。耳学問と言ったりしますが、耳で聴いたことは身に結実するという意味で、『身実』と言っていたのです。

中国の漢字が入って、別個の漢字が割り当てられて本来の意味がわからなくなっていることが多くなっていたのです。

## ／音脳 out (口) ／

速音聴を耳で聞くだけでも、『身実』として身に付いていくのですが、更にそれ以上に成長しようとする、聞いた音を口で発声する事をしないと、脳の働きとして半分しか音脳が鍛えられないことになっていることが分かりました。江戸時代の寺小屋では、音読が教育の主流だった意味がここにありました。

速音聴も聴いているだけでは、限界がきて成長が滞ることが起こります。その時の対処法が自分で音読する、発声するトレーニングを加えることで、耳と口との間で、無限ループが出来て、音脳 (音脳 in、音脳 out) がどこまでも成長できるようになります。



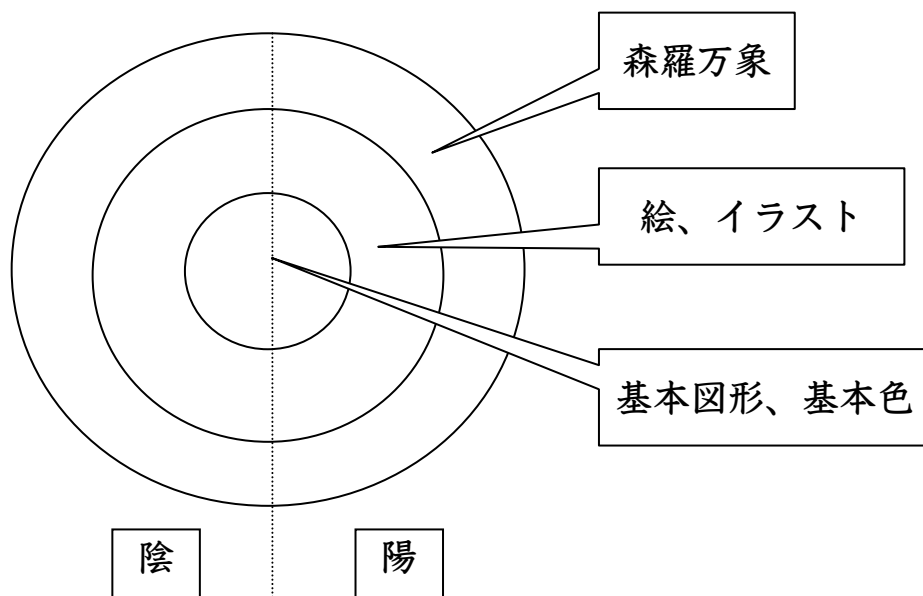
## ／絵脳／

左右脳でいうと、右脳に当たります。

絵脳には、基本図形、イラスト、各種設計図、絵画、森羅万象の絵などから成り立っています。  
絵（文字）は、人（霊止）が描いたものです。

基本図形、イラスト、各種設計図、絵画、森羅万象の絵等の絵辞書が字脳に構築されればされるほど、絵脳は大きく育ちます。絵と字と音の時間的な変化である動画に対する能力も育ちます。

## ／絵脳の断面図／



## 絵脳の役割

- 高いIQの源の絵（叡智）の面
- 絵画力
- 企画力
- 計算力の補助 <=算盤も描く
- イラスト力
- 図形力
- 描画力
- 物理
- 遠近法
- 色
  
- 絵（イラスト）辞書構築

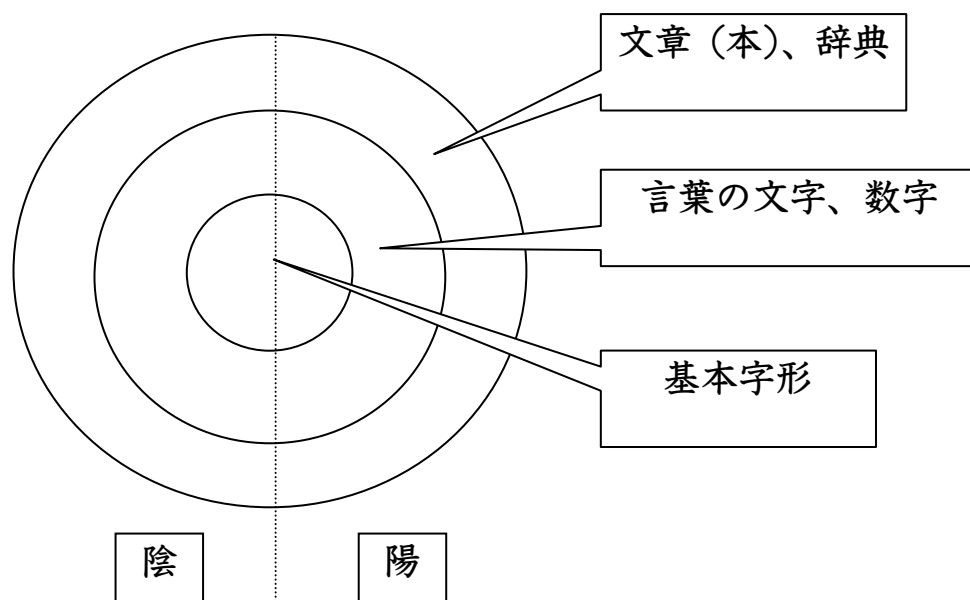
## ／字脳／

字（文字）は、人間が作り上げた音声の言葉を目で見える形にしたものです。

字脳には、コトタマ、オノマトペ、単語、文章から成り立っています。

コトタマ、オノマトペ、単語、文章等の字辞書が字脳に構築されればされる程、字脳は大きく育ちます。字の時間的変化である習字の運筆等の動きも理論的に判断します。

## ／字脳の断面図／

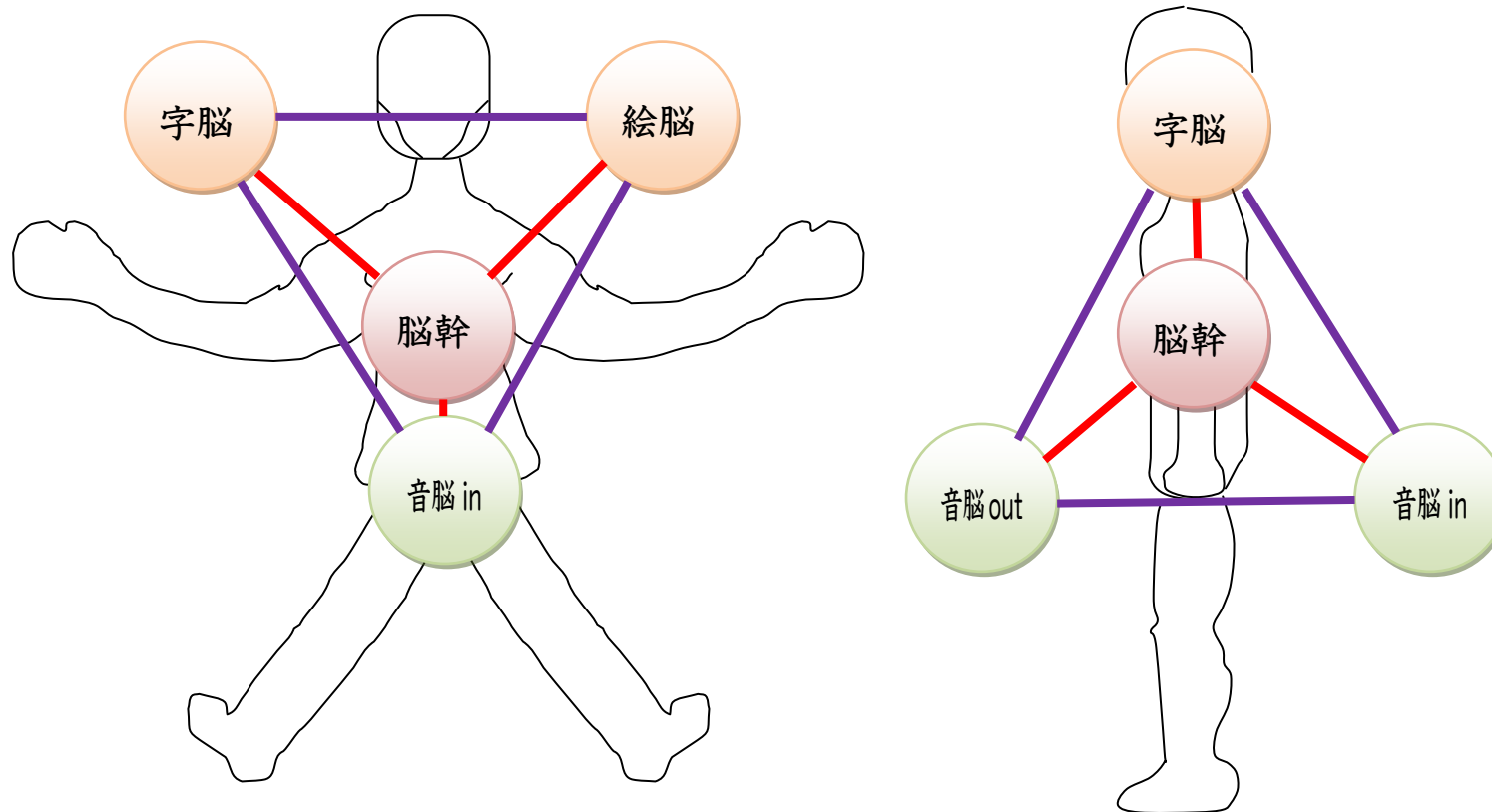


## 字脳の役割

- 高いIQの源の字（言葉）の面
- 語彙力
- 計算力
- 論理力
- 文章力
  
- 単語（語彙）辞書構築

## ／音絵字脳（音絵字力）を日々の生活の中で育てる／

自宅、学校（大人は職場等）の中では、音絵字脳を実践的に育てて下さい。この実践をすることで、それぞれの個別脳（音脳 in、音脳 out、絵脳、字脳）は成長を続け、それぞれの個別脳が太い神経で連結され、脳幹が4つの個別脳をコントロールする仕方が成長します。音絵字脳は、脳の働きから脳の構造を考えたものです。ですので、実際の身体の脳内に音絵字脳があるとは思わないで、下図のように、下腹の丹田に『音脳』が位置しており、心臓あたりに『脳幹』あり四つの個別脳を連携してコントロールし、頭を正面にして頭の右方に『絵脳』、左方に『字脳』があると捉えると、身体全体で、脳を活用しているという感覚となることが出来ます。

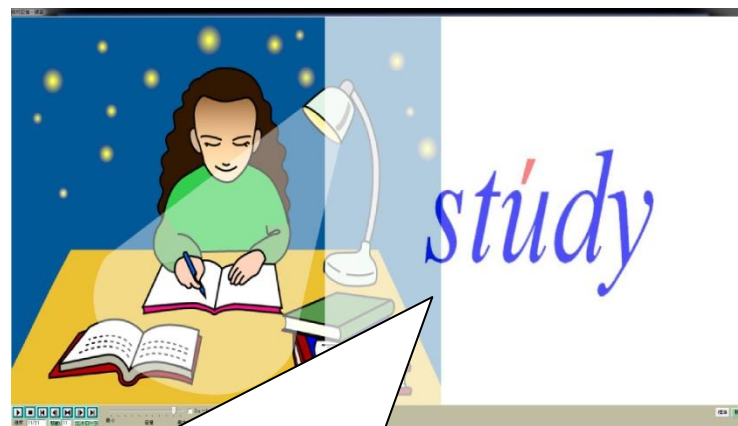


## ／音絵字脳（音絵字力）を日々の生活の中で育てる意識の癖を付ける／

音絵字脳を大きく育てるためには、意識の癖付けをすることがとても効果的です。最初に、一つの言葉は、音と、絵と、字、音絵字（おとえじ）という三つの情報から出来ていると自覚します。その重要度は、音絵字そのままの順番です。音で発声できるかが一番大切です。そして、次に、その音に対応する絵を脳内で描きます。もし、脳内に描けない場合、面倒でも紙に筆で描くようにします。次の音に対応する字を脳内に書きます。もし、脳内に書けない場合、面倒でも紙に筆で書くようにします。その積み上げで、音絵字脳は一步一步成長を遂げていきます。

日常生活では下記の意識の癖をつけましょう！

音を聴くと、それに該当する 絵、字 を思い出す。  
字を見ると、それに該当する 絵、音 を思い出す。  
絵を見ると、それに該当する 音、字 を思い出す。



どんな事物を見ても、左側に『絵』を描き、右側に『字』を書き、口で『音』に発して、三つの要素を一つにして記憶する癖を日頃から付けるようにします。

日常生活の中でも、上記の意識付けをすることでも、音絵字脳の成長は加速します。それは、日本語でも、英語でも同じです。一週間も実践すると、脳内が活発に活動するのを体験されます。

読書をするときも、文章を読みながら、常に、『絵』を脳内に描きます。それで、マンガを読んでいるかのように、文章から絵が描けるようになり、どんな読書も絵本を読んでいる感覚となります。それが、速読が出来ているということです。音絵字脳を育て、日々トレーニングしていけば、速読も、記憶術も身に付けることが出来て、『愛情あふれる天才』となる事が出来ます。